

CASBEE® 広島

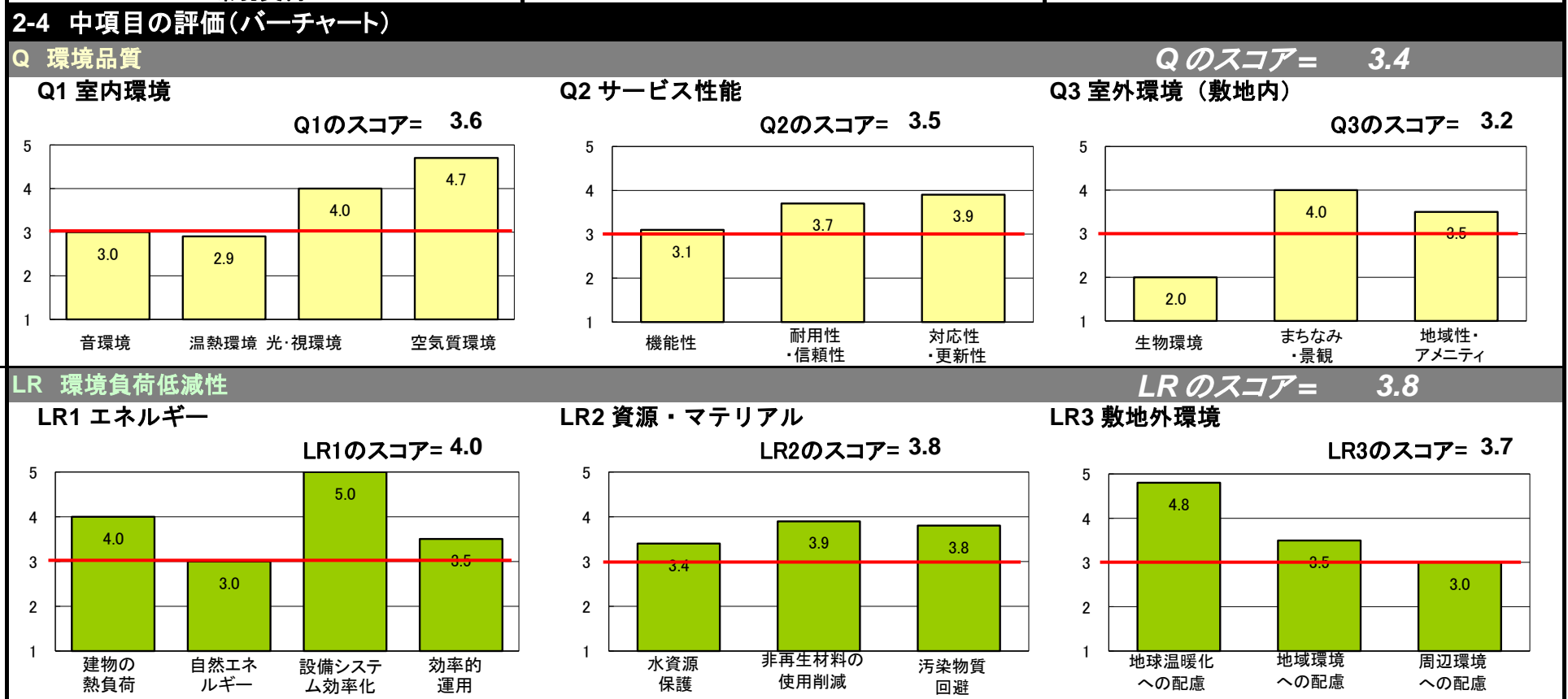
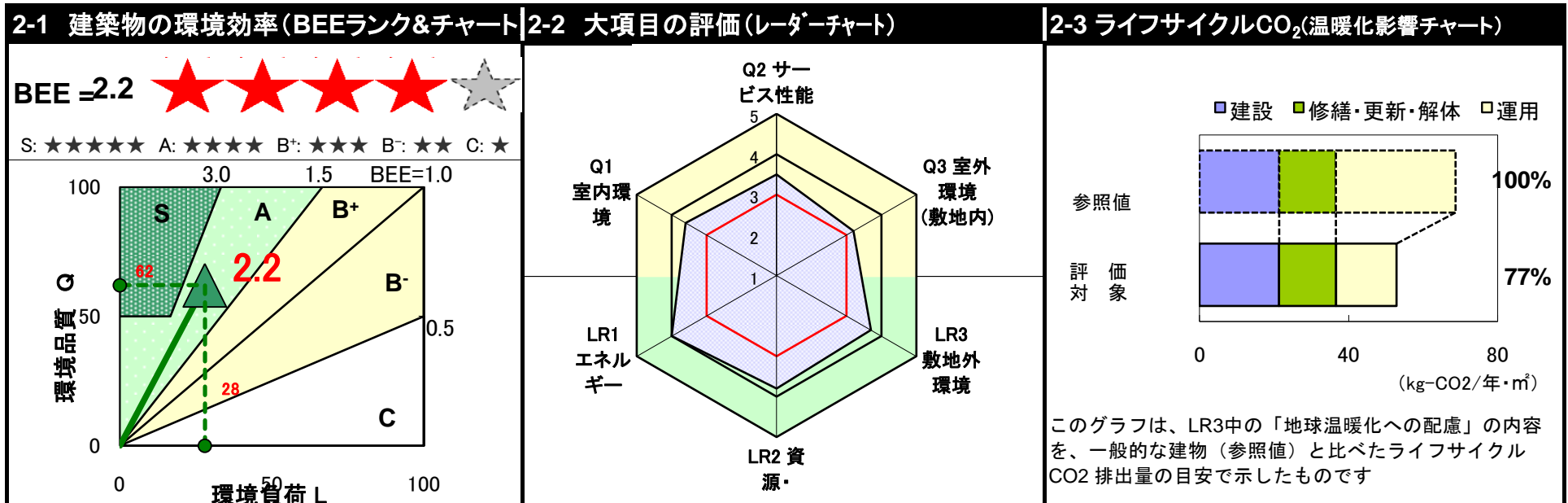
(2010年ver.1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	新北部資源選別センター	階数	地上3階
建設地	広島市安佐北区安佐町大字筒瀬字岡田849番2外	構造	RC造
用途地域	都市計画区域外	平均居住人員	XX 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	事務所, 工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年3月 予定	評価の実施日	2011年3月1日
敷地面積	10,698 m ²	作成者	兵頭 真之
建築面積	4,252 m ²	確認日	
延床面積	8,491 m ²	確認者	



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.8

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 4.0	スコア = 2.8	スコア = 4.1
設計の計画上特段に配慮した事項 壁面緑化を行い、将来的には屋上緑化、太陽光発電が可能な計画としています。	設計の計画上特段に配慮した事項 緑地の確保 / 地域に配慮した動線計画	設計の計画上特段に配慮した事項 設備機器の更新の為、2階をS造とし、プラント機器の搬入が将来可能な構造としています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される